

## 県図書館協会 会長あいさつ

鹿児島県図書館協会会長の東條でございます。令和6年度のスタートにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

昨年度は、人々が新型コロナウイルス感染症への警戒を徐々に解きはじめ、県内の市町村図書館・図書室においても、従前の状況に戻そうとする動きが見られました。

県図書館協会といたしましても、主催事業である公立図書館(室)長及び業務担当者会、県教育委員会との共催による親子読書研修会や読書の魅力を伝える活動推進研修会、県図書館大会を県内各会場で開催することができました。

特に、公立図書館(室)長及び業務担当者会(会場:伊佐市)と読書の魅力を伝える活動推進研修会(会場:垂水市, 薩摩川内市)におきましては、始良伊佐支部, 大隅支部, 北薩支部の皆様のご理解と御協力によって、参加者同士が直接交流できるような場を御準備いただきました。おかげさまで、県内の公立図書館(室)に勤務する職員の交流が図られ、図書館間のネットワークをより確かなものにすることができました。

これからの図書館協会の活動においても、この互いのつながりを意識し、活用し、さらに広げていくことができるよう、心がけて参ります。各公立図書館(室)におかれましても、県内の図書館間のつながりを十分に生かし、図書館活動のよりよい発展をめざしていただきたいと思います。

令和6年度も県民の皆様の図書館利用がより活発なものになるよう、県図書館協会の活動への御理解と御協力をお願いいたします。